

公益社団法人日本動物学会中国四国支部令和5年役員会議事録
令和5年5月13日(土) 10:30~12:00
オンライン(Teams)審議

出席者(敬称略): 植木 龍也(支部長), 浮穴 和義(理事), 彦坂 暁(支部代表),
山中 明, 箕田 康一, 森下 文浩, 椋田 崇生, 高田 裕美, 山口 陽子,
佐藤 伸, 宇田 幸司, 真壁 和裕, 北沢 千里, 藤原 滋樹, 井川 武, 小野 廣記,
坂本 浩隆, 濱田 麻友子, 有本 飛鳥, 小林 勇喜(以上役員)

開会にあたり、真壁和裕委員(三学会開催地元県委員として)ならびに植木龍也支部長より挨拶があった。

○報告事項

1) 理事報告

植木龍也支部長より、2022年9月以降の理事会の報告があった。

- 最新の名簿で選挙をしたい旨の要望が他支部からあった。それに伴い、本部から各支部の選挙方法に関する照会があり、中四国支部の選挙方法を含めて植木龍也支部長から本部にメールで回答した。
- 今年の山形大会(山形大学・小白川キャンパス)9月7日(木)から9日(土)の3日間。来年度は九州大会(長崎大学・長崎新聞文化ホール アストピア)、再来年度は中部大会(名古屋大学が主体、開催地未定)の予定。
- 大会引継ぎを円滑に進めるために、大会準備委員から引継ぎ担当理事を選出することになった。今年9月の山形大会の総会以降に指名理事を選出し、任期は1年。
- 感謝状贈呈の推薦について、一人候補者がいる旨の説明があった。今後、メールで審議予定
- 支部推薦委員の変更に関して説明があった。
- 全国大会の記録と今後の予定について説明があり、次の中四国支部担当は2028年(予定)であることが共有された。

2) 庶務幹事報告

小林勇喜庶務幹事より、支部役員・会員数について報告があった。

□庶務幹事報告

①支部役員（2023年5月現在）

支部長	植木 龍也	広島大・院・統合生命
理事	浮穴 和義	広島大・院・統合生命
支部代表	彦坂 暁	広島大・院・統合生命
県委員	山中 明	山口大・院・創成科学
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	森下 文浩	広島大・院・統合生命
	椋田 崇生	鳥取大・医
	高田 裕美	愛媛大・院・理工
	山口 陽子	島根大・生命科
	佐藤 伸	岡山大・異分野融合先端研究コア
	宇田 幸司	高知大・自然系・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・社会産業理工
企画委員	北沢 千里	山口大・教育・理科教育
	清水 克彦	鳥取大・地域価値創造研究機構
	藤原 滋樹	高知大・自然系・理工
	井川 武	広島大・院・統合生命
	村上 安則	愛媛大・院・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・理工
	小野 廣記	島根大学・生物資源科学部・隠岐臨海
	箕田 康一	徳島文理大・理工
坂本 浩隆	岡山大・理・生物	
HP 委員	濱田 麻友子	岡山大・理・臨海
会計監査	吉田 将之	広島大・院・統合生命
会計	有本 飛鳥	広島大・瀬戸内 CN 国際共同研究センター
庶務	小林 勇喜	広島大・院・統合生命

赤文字：変更箇所

支部所在地：〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1
 広島大学大学院統合生命科学研究科（総合科学部気付）
 TEL: 082-424-6403 FAX: 082-424-0758
 E-mail: ykoba@hiroshima-u.ac.jp

②支部会員数について

2011	平成23年	276名		
2012	平成24年	296名		
2013	平成25年	305名		
2014	平成26年	310名		
2015	平成27年	297名		
2016	平成28年	302名		
2017	平成29年	286名		
2018	平成30年	264名		
2019	令和01年	256名		
2020	令和02年	256名		
2021	令和03年	248名		
2022	令和04年	249名		
2023	令和05年	256名	(+ 7名)	4月25日現在

愛媛	15名 (+ 2)
岡山	61名 (- 5)
香川	6名 (- 1)
広島	84名 (+ 4)
高知	9名 (+ 2)
山口	26名 (+ 1)
徳島	8名 (± 0)
鳥取	21名 (+ 3)
島根	26名 (+ 2)

3) 会計幹事報告

有本飛鳥会計幹事より、別紙1,2のとおり令和3年度支部会計決算（令和3年7月1日～令和4年6月30日）および令和4年度決算見込み（令和4年7月1日～令和5年5月13日現在）について報告があった。

4) 会計監査報告

吉田将之会計監査（代読：小林勇喜庶務）より、令和3年度支部会計決算は適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

5) 県委員・企画委員報告

各県委員からの報告をもとに小林勇喜庶務幹事から以下に関して報告があった。

○山口 島根県委員報告

中国四国地区生物系三学会合同支部大会（2022年5月21・22日、オンライン開催）を企画・運営した。

○佐藤 岡山県委員報告

名称：岡山県例会

日時：2022年12月2日 16:00～17:30

場所：オンライン開催

内容：セミナー形式（根本理子 岡山大学農学部准教授）

参加者：約25名

○山中 山口県委員報告

名称：山口大学理学部サイエンスワールド 2022

～集え、未来の科学者たち！～（日本動物学会中国四国支部後援）

日時：2022年11月13日（日） 10：00～17：00 予約制

場所：山口大学理学部1号館

内容：学生による科学体験企画を中心とした地域住民への科学への魅力発信（出典企画：25件）

参加者：173名

○森下 広島県委員報告

令和4年度広島県例会

日時：2023年3月7日 13:00 ～ 16:00

場所：広島大学理学部大会議室

内容：ポスター発表を対面式で実施した。22題の演題登録があり、そのうちの7題は大学院生、10題は学部生(2名の3年生を含む)の発表であり、若い世代の参加が目立った。当日参加も含めて49名の参加があり、熱心な発表と討論が繰り広げられた。なお、コロナ感染症対策のため、連絡先の登録、当日の健康状態の自己申告、マスク着用等の対応を取った。

○宇田 高知県委員報告

名称：土佐生物学会

日時：2022年12月10日 9：30～14：30

場所：高知大学理工学部

内容：研究発表（口頭発表10題，ポスター4題）

○椋田 鳥取県委員報告

名称：「電子顕微鏡写真コンクール」（主催：「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会） 主催者体調不良のため中止した。

6) その他 特になし

○審議事項

1) 次年度事業計画について

各県委員からの意向を含め、小林勇喜庶務幹事から以下に関して提案があった。

① 次年度支部大会について

50回	(平成10年)	鳥取	(広島で植物学会)
51回	(平成11年)	高知	
52回	(平成12年)	広島	
53回	(平成13年)	山口	
54回	(平成14年)	香川	
55回	(平成15年)	島根	
56回	(平成16年)	徳島	
57回	(平成17年)	岡山	
58回	(平成18年)	愛媛	
59回	(平成19年)	鳥取	
60回	(平成20年)	広島	(高知で植物学会)
61回	(平成21年)	高知	
62回	(平成22年)	山口	
63回	(平成23年)	香川	
64回	(平成24年)	島根	
65回	(平成25年)	徳島	(岡山で動物学会)
66回	(平成26年)	岡山	
67回	(平成27年)	愛媛	
68回	(平成28年)	鳥取	
69回	(平成29年)	高知	
70回	(平成30年)	山口	(広島で植物学会)
71回	(令和元年)	広島	
72回	(令和3年)	香川	
73回	(令和4年)	島根	
74回	(令和5年)	徳島	

次回予定：75回 (令和6年) (岡山)

参考：次々回予定：76回 (令和7年) (愛媛)

次回は岡山県で開催することを総会に提案することが承認された。

また、令和7年は愛媛県で開催する旨が確認された。

② 県例会等について

○岡山県

名称：岡山県例会

日時：2023年12月(予定)

場所：岡山大学理学部

○山口県

名称：山口大学理学部サイエンスワールド2023（日本動物学会中国四国支部後援依頼予定）

日時：2023年10月29日（予定）

場所：山口大学理学部

○広島県

名称：広島県例会

日時：2024年3月上旬（予定）

場所：広島大学理学部

ポスター形式で実施の予定。

○高知県

名称：土佐生物学会

日時：2023年12月（予定）

場所：高知大学理工学部

○愛媛県

名称：愛媛県例会

日時：2023年12月（予定）

場所：愛媛大学理学部

2023年度の県例会等の実施について総会に提案することが承認された。

2) 次年度支部予算案について

有本飛鳥会計幹事より、令和5年度支部会計予算について、令和5年7月1日～令和6年6月30日の支出計画案（別紙3）が提出され、議論の後、総会に提案することが承認された。

・会員数減少に伴い、支出が収入を超えるため、支部大会援助金を10万円から6万円へ。三役の手当てを3万円から1.5万円へ。

議論の内容

- ・実際に則して、シンポジウム援助金および若手研究者優秀発表賞援助金に関して見直しても良いのではとの意見があった。
- ・三学会間の支部大会援助金の額と規模に関する質問があった（参加者および発表演題数が多い学会は援助金が多い方がバランスが良いのではなど）。
- ・シンポジウム援助金などを支部大会援助金としてまとめる案が出された。

→上記内容に関して、植木龍也支部長から実際の運用、これまでの経緯を含めて説明があり、原案を総会に提案することが承認された。

3) 総会の次第について

原案通り了承された。

4) 三学会香島根大会：若手研究者優秀発表賞の選考について

選考方法について植木龍也支部長および真壁和裕委員から提案があり、以下の方法で選考を行うことが決まった。

①オンラインでの選考方法について（案）

- ・選考は支部役員によるオンライン投票とする
- ・大会に参加登録していない役員も、応募者全ての口頭発表を聴いて投票する
- ・投票には Microsoft Forms を使用し、5/14（日）11:45-12:30 の間に投票を行う

設定：

- ・二重投票等を防ぐために記名での投票とする
- ・最大2名に投票し、該当者がいない場合は「該当者なし」に投票する
- ・回答は1回とする
- ・集計結果は支部長と開催県委員で確認する
- ・投票の URL は大会前に選考委員にメールで通知する

②受賞者数について

- ・今回は応募者が13名であるため、受賞者は2名までとする
- ・2位に得票数が同数の者が出たときは、選考委員会が1名に絞る

*賞状に関して

三学会開催県の県委員が印刷し、副賞と共に支部本部へ送付。支部本部が支部の判子を押印し、受賞者へ送付する。

5) その他

○森下委員から、「1. 社会啓蒙活動実績の報告」と「2. 支部大会などにおける高校生研究発表の著作権侵害や剽窃の防止について募集要項などでの注意喚起」（別紙4）に関する説明があり、意見を募った。

1. 社会啓蒙活動実績の報告

- ・関連しそうなイベント情報を県委員でまとめて（可能であれば）森下先生に連絡する。
- ・どこまでを学会の働きとしてカウントして良いのか？
→不明な場合は森下委員に連絡し、学会本部の判断を仰ぐ。
また、JSTの補助金を受けた事業等は、支給団体にも確認する必要性も考慮する。
- ・動物学会中四国支部の後援を希望する場合は、植木龍也支部長へ連絡する。

2. 支部大会などにおける高校生研究発表の著作権侵害や剽窃の防止について募集要項などでの注意喚起に関して

- ・学会本部で注意喚起内容のテンプレートを作成して欲しい旨の意見が出された。
- ・来年度の三学会（岡山）準備委員間で、実際の対応（募集要項に注意事項を記載し喚起する等）をご相談いただくこととした。

○真壁委員から会員数の少ない県の三学会担当に関して、実際の経験をもとに意見が出された。

各県の会員数把握は「なかまシステム」で行っているが、幽霊会員もあり、実際に学会運営に携われる会員はより少ないという現状がある。徳島大会も対面ではなく、オンラインであったため実施出来た。三学会の今後の担当県に関して一考する必要がある。

- ・動物学および中四国支部の裾野を広げるべく、会を運営可能な会員の入会を勧める。
- ・ローテーションの際に担当予定の件に確認を取る。
(厳しい場合はスキップするなど柔軟な対応も視野に入れる)
- ・オンライン開催も一つの選択肢とする。

上記内容を踏まえ、動物、植物、生態学会それぞれから意見を持ち寄り、今後の三学会の運営方針を議論する。

令和 3 年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算

(令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日)

収入の部		予算	決算			
繰越金		¥117,795		¥117,795		
支部活動費		¥150,000		¥155,000		
預金利息		¥2		¥2		
		¥267,797		¥272,797		
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳	
事業費		¥156,000		¥156,000		
	支部大会援助金(島根大会)		¥100,000		¥100,000	
	シンポジウム援助金(島根大会)		¥15,000		¥15,000	
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000	
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	広島県 ¥5,000
						岡山県 ¥5,000
						山口県 ¥3,000
						島根県 ¥3,000
						愛媛県 ¥2,000
						鳥取県 ¥2,000
						香川県 ¥2,000
						高知県 ¥2,000
						徳島県 ¥2,000
選挙費		¥11,000		¥0		
通信運搬費		¥5,000		¥5,946		
					¥330	送金手数料
					¥756	返送用84円切手9枚
					¥189	現金書留封筒9枚(1枚21円)
					¥4,671	現金書留郵送料9通(1通519円)
給料手当		¥30,000		¥30,000		
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000	
雑費		¥2,000		¥0		
謝金		¥5,000		¥0		
消耗品費		¥5,000		¥0		
小計		¥214,000		¥191,946		
返金(本部)		¥0		¥0		
予備費		¥53,797		¥80,851		次年度繰越
計		¥267,797		¥272,797		

令和 4 年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算見込み
(令和 4 年 7 月 1 日～令和 5 年 5 月 13 日現在)

収入の部		予算	決算			
繰越金		¥134,258		¥80,851		
支部活動費		¥150,000		¥160,000		
預金利息		¥2		¥2		
		¥284,260		¥240,853		
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳	
事業費		¥156,000		¥156,000		
	支部大会援助金 徳島大会)		¥100,000		¥100,000	
	シンポジウム援助金 徳島大会)		¥15,000		¥15,000	
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000	
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	
					広島県	¥5,000
					岡山県	¥5,000
					山口県	¥3,000
					島根県	¥3,000
					愛媛県	¥2,000
					鳥取県	¥2,000
					香川県	¥2,000
					高知県	¥2,000
					徳島県	¥2,000
選挙費		¥0		¥11,000		
通信運搬費		¥7,000		¥6,216		
					¥600	送金手数料
					¥756	返送用84円切手9枚
					¥189	現金書留封筒9枚 (1枚21円)
					¥4,671	現金書留郵送料9通 (通519円)
給料手当		¥30,000		¥30,000		
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000	
雑費		¥2,000		¥0		
謝金		¥5,000		¥0		
消耗品費		¥3,000		¥0		
小計		¥203,000		¥203,216		
返金 本部)		¥0		¥0		
予備費		¥81,260		¥37,637		次年度繰越
計		¥284,260		¥240,853		

令和 5 年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 予算案

(令和 5 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日)

収入の部		予算	
繰越金		¥37,637	見込み)
支部活動費		¥150,000	
預金利子		¥2	
		¥187,639	
支出の部		予算	内訳
事業費		¥116,000	
	支部大会援助金		¥60,000
	シンポジウム援助金		¥15,000
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000
	県例会援助金		¥26,000
選挙費		¥11,000	
通信運搬費		¥7,000	
給料手当		¥15,000	
	庶務幹事手当		¥5,000
	会計幹事手当		¥5,000
	ホームページ委員手当		¥5,000
雑費		¥2,000	
謝金		¥5,000	
消耗品費		¥3,000	
小計		¥159,000	
予備費		¥28,639	次年度繰越
計		¥187,639	

* 支出が収入を上回るため、選挙費以外の支出金額の変更について議論いただきたい。

変更：黄色で示した箇所。

- (1) 支部大会援助金を 4 割減、援助額の合計=13 万円→9 万円
- (2) 三役の手当を半減、3 万円→1.5 万円

公益社団法人日本動物学会 2023 年度事業計画

8 委員会活動

・教育委員会

- 1) 各支部の支部大会を中心に高校生研究発表等の促進、生徒・児童の学習支援、啓蒙活動を実施する。
- 2) 本大会および支部大会での高校生研究発表における著作権侵害や剽窃などの懸念事項に対して、大会準備委員会の高校生発表担当者と密に連携をとり募集要項に注意事項を記載し喚起する。